

授業科目名 (英文表記)	公益事業論 (Economics of Public Utilities)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	上野 美咲		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 11月5日(出) 13:00~17:00	第3回 11月26日(出) 13:00~17:00	
	第2回 11月19日(出) 13:00~17:00		

**【授業のねらい・概要】**

公益事業の在り方について官と民の役割分担等の観点から講義・演習を行う。特に、エネルギー分野においては、再生可能でクリーンな自然エネルギーが注目を集めていることを鑑み、地方都市独自のエネルギー産業に着目する。新しい時代の公益事業について理解を深めながら、現実社会で適応する際の課題等について全体で討論したい。上記を学ぶ中で、公益事業を取り巻く様々な課題等を理解し、その課題解決に向けた糸口を導き出す能力を磨くことが学習目標である。

**【授業計画】**

第1回①

ガイダンス・公益事業の概要

【事前】シラバスを読んでくる。

第1回②

成熟型都市経営

第2回①

持続可能な都市

第2回②

持続可能な開発目標(SDGs)と公益事業Ⅰ

第3回①

SDGsと公益事業Ⅱ

第3回②

SDGsと公益事業Ⅲ・まとめ

**【到達目標】**

現代の公益事業を取り巻く様々な課題等を理解し、その課題解決に向けた糸口を導き出す能力を身に付けることができる。

**【成績評価の方法】**

ミニツツペーパー30%、レポート70%。

**【教科書】**

人口減少時代の都市(諸富徹著, 中央公論新社, ISBN978-4-12-102473-2, 本体800円+税)

**【参考書・参考文献】**

授業中に適宜紹介する。

**【履修上の注意・メッセージ】**

- 「和歌山大学ひとり歩き」の133頁「和歌山大学学生の特別な事由による欠席の取扱いに関する要項」は必ず確認しておくこと。
- 他のメンバーに迷惑のかかる行為は控えること。

**【履修をする上で必要な事項】**

- レポート等の提出はMoodleを通して行う。特別の事情がない限り、レポート等の期限は延長しない。
- 南紀熊野サテライトでは対面で、それ以外の地域から参加する場合には同時配信で授業を行う。同時配信を受信する方法として、Teamsを使用する。

**【授業時間外学修についての指示】**

各授業内容に沿って事前・事後学習を行うこと(授業内で適宜指示)。